

日頃からの準備と近所づきあいがあなたの命を守ります！

災害発生



まずは自分と家族の安全確認

避難開始

倒壊の危険あり

自宅が安全なら

一時避難場所

自宅に倒壊などの恐れがある場合は、ガスの元栓・電気のブレーカーを確認し、まずは、一時避難場所へ向かいましょう。

【一時避難場所】
はどこですか？

一時避難場所へ集まった方を中心に、お互いの助け合いにより安否確認が行われます。

大火災発生

広域避難場所

大きな火災の危険が迫っている場合に避難する場所です。

【広域避難場所】
はどこですか？

自宅へ戻ることが難しい場合は
避難施設へ

自宅(在宅避難)

自宅が安全な場合や移動が困難な場合は、自宅にとどまり、日頃から安否の確認を行えるよう心掛けましょう。

直接、各避難施設へ向かうように
決めている自治会もあります。



避難生活

福祉避難所(一次) (市民センター・公民館)

避難施設での生活が困難な方が、高齢者・障がい者施設(福祉避難所(二次))へ移るまでの一時的な避難施設です。各市民センター・公民館に開設されます。

【福祉避難所(一次)】
はどこですか？

特に支援を
必要とする方

避難施設

自宅が被災し、生活が困難な場合は、小・中学校などの避難施設へ避難します。避難施設は、自治会ごとに決められています。事前に確認しておきましょう。

自宅の被害が少なく、避難生活を必要としない方についても、物資が不足した場合は、避難施設で受け取ることができます。そのような場合は、各避難施設で住宅被災者の登録をしましょう。

【避難施設】はどこですか？



生活再建



自宅での生活



避難の流れは、お住まいの地域や自治会によって異なる場合があります。各地区や自治会の防災訓練・避難訓練に参加し、避難の流れなどを把握しておきましょう。

Hinanzyo (避難所) Unei (運営) Game (ゲーム) を体験しました

7月6日(土) 六会市民センターに防災リーダーが集まり、HUG(ハグ)を体験しました。人(避難する市民ら)、物(支援物資など)、情報(問い合わせ等)を上手くさばけるか、配置・管理できるか、模式図などを利用しながら避難所運営を疑似体験できるゲームです。

当日は、参加者が3チームに分かれ、それぞれ机の上に広げた学校の校庭や体育館内の図、校舎の教室などを表す紙を広げ、避難者などに見立てられたカードを次々と配置しました。次に配られるカードにどんな内容があるのか分からず、現在の対応や管理が適切なのか、自信がないまま、各チームお互いに協力しながらゲームが進行しました。



ゲーム終了後に、チームごとにゲーム進行の概要と反省点を発表し、意見交換をしました。反省点としては、スタッフ各メンバーの役割分担についての取り決めがなかった点、情報や避難者リストの記録がなおざりにされた点などがあげられました。

机上のゲームとはいえ、避難所の運営が疑似体験できました。実際に災害が発生し避難所が必要になったときには、この体験が少なからず役に立つでしょう。

100トン水槽操作訓練を実施

令和元年7月24日(水) 天神公園に設置されている100トン水槽の操作訓練が行われました。当日は「藤沢市管工事業協同組合」の方々のご指導のもと“手動ポンプ”“エンジンポンプ”の操作方法、給水管の接続方法等を体験し機材のチェックを行いました。



災害時には、水を始め不安が一杯です。日頃からの準備が大切です。できれば7日分、最低でも3日分の備蓄品を準備しましょう。

今回指導して下さった「藤沢市管工事業協同組合」の皆様も参加される「藤沢市総合防災訓練」が9月7日(土)の午前10時~正午まで藤沢市消防防災訓練センター(藤沢市石川3417-1)で開催されます。お時間のある方はぜひ参加されてはいかがでしょうか? 詳細は危機管理課(TEL 25-1111【代表】)へお問い合わせください。



※防災リーダー連絡会の活動の様子や過去のリーダーニュースをご覧になりたい方は、《六会地区ポータルサイト》をご覧ください。

六会地区ポータルサイト

検索

もしくは…

